

ともに働く仲間のために

～障がい者雇用好事例集～



はじめに

平成25年4月1日に法定雇用率が2.0%に引き上げられ、障がい者を雇用しなければならない事業主の範囲が従業員50人以上に拡大されました。

鳥取県の障がい者実雇用率は、多くの企業の皆様の御理解のもと、平成28年6月1日現在で2.11%と過去最高となり法定雇用率を大きく上回りました。法定雇用率達成企業の割合も59.1%と半数以上の企業が法定雇用率を達成されています。

また、県内ハローワークを通じた平成27年度の障がい者の就職件数は597件で過去最高を更新するとともに、今春、初めて卒業生を輩出した琴の浦高等特別支援学校では卒業生のほぼ全員が一般企業に就職するなど障がい者の就職状況は改善傾向にあります。

一方、離職者が減少する傾向にないことや平成30年度には精神障がい者が法定雇用率の算定基礎に算入され法定雇用率の見直しが行われることから、今後も更なる離職防止と就労支援の充実が求められています。

この冊子では、県内の企業で障がい者雇用已成功している事例を紹介します。新たに障がい者雇用を始められる際や障がい者の就労支援に取り組まれる際に、参考にしていただければ幸いです。

なお、この冊子の作成にあたり、掲載した企業の皆様に多くの御協力をいただきました。この場をお借りて感謝申し上げます。

目次

所在地	企業名	項目	好事例の特徴	頁
米子市	日清医療食品株式会社 ヘルスケアフードサービスセンター米子	ジョブコーチ 支 援	コミュニケーションで一緒に働く 仲間の理解を深めている事例	1
鳥取市	鳥取ビルクリーナー株式会社	ジョブコーチ 支 援	業務のやり方が変わっても、戸惑 いなく就業が継続した事例	2
米子市	日本郵便株式会社米子郵便局	職場環境	障がい者雇用専門の部署が事業所内 で注目される存在となっている事例	3
鳥取市	大同端子製造株式会社	職場環境	障がい者の能力が十分に発揮され、 貴重な戦力となった事例	4
倉吉市	有限会社ドアーズ	職場環境	得意、不得意をうまく組み合わせ 個性を活かした事例	5
鳥取市	株式会社鳥取大丸	職場環境	障がい者が自ら進んでステップア ップしている事例	6
鳥取市	日ノ丸産業株式会社 (鳥取・いなば 有隣荘)	職場実習	職場実習を通して、業務適正を判 断している事例	7
米子市	社会福祉法人こうほうえん	支援機関との 連 携	職員や利用者との協力により、業 務が上達していった事例	8
東伯郡 北栄町	株式会社寺方工作所	支援機関との 連 携	障がい者に配慮することが職場に 定着している事例	9
鳥取市	愛ファクトリー株式会社	特例子会社	個人の特性を活かしながら職場定 着を実現した事例	10
障がい雇用を支援する制度紹介				11
精神障がい者雇用マンガリーフレット「精神障がいを知り ともに働く職場づくり」				12
問い合わせ先				14

日清医療食品株式会社

ヘルスケアフードサービスセンター米子

～コミュニケーションで一緒に働く仲間の理解を深めている事例～



- 所在地：米子市旗ヶ崎
- 事業内容：食品製造業
- 従業員：70人
- うち障がい者数：知的1人（洗浄業務）、精神4人（洗浄業務、包装業務）

〈事業所概要〉

弊社のヘルスケアフードサービスは、医療福祉関係に提供する食事を大量に、かつ効率的に製造しており、多くのお客様にご利用いただいています。

日清医療食品の全社品質方針である“お客様の信頼と満足を得る、心のこもった食事サービスを提供する”を徹底し、より良い製品を提供するため、日々の業務に取り組んでいます。

一緒に働くパートナーとしての理解を深めています。

障がい者雇用の経緯

平成19年2月に開所した時の障がい者雇用は、知的障害と精神障がいの2名でした。雇用後に精神障がいの方が体調を崩され、状態が安定しないため、やむを得ず退職に至りました。この時に、障がい者雇用の難しさと、受け入れる側の理解の必要性を痛感しました。

その後、障害者就業・生活支援センターの協力を得て、精神障がいの方をパート社員として採用し、洗浄部門に配属、約1年後には嘱託職員へ変更し、現在も業務に従事していただいています。その後も支援機関の協力を得ながら徐々に障がい者の方の雇用を増やしています。

業務内容

洗浄業務、包装業務、包装業務の補助等で働いていただいています。

洗浄業務では、主に調理器具等の洗浄作業など一連の洗浄作業をしています。

包装業務では、製品のパック投入、真空包装機作業等を行っています。

包装の補助業務では、商品を入れるための段ボール組み立て、保冷剤の移し替え作業を行っています。



洗浄作業



梱包作業

ポイント①

ジョブコーチのアドバイスを活用

障害者職業・生活支援センター等のジョブコーチの支援により、障がい者雇用の促進・定着ができたと感じています。

ジョブコーチの方には、定期的に訪問していただき、本人と従業員とのコミュニケーションの取り方や、本人の相談に乗っていただいたり、個々の能力に合った業務の切り出しやそれらのサポート方法のアドバイスをいただきました。

今では、本人から業務の効率化や衛生面のアイデアを提案するまでに成長してくれています。



製品のパック投入作業

ポイント②

職場実習で周囲のフォロー体制構築

一緒に働くパートナーとして、周囲がフォローをしっかり行ったことが職場定着に大きくつながったのではないかと思います。また、月1回程度、本人と面談を行い、課題の把握とその対処法について、ジョブコーチからアドバイスを受けています。

こうしたことは、平成24年から受け入れている職場実習により、本人に対する接し方への理解が深まったことによる成果だと思っています。



フォロー体制で安心して仕事に従事

ともに働く仲間から一言

当社の理念である「障がいのある人もない人も、お互いに特別に区別されることなく、社会生活をともにするのが、正常なことであり、本来の望ましい姿である」に基づき、障がいのある方の雇用に努めるとともに、誰もが快適に働くことができる環境づくりを目指しています。関係機関との協力、支援を受けながら、今後もより一層の障がい者雇用を進めていきたいと考えています。

障がいのある方の雇用をお考えの事業所の皆様、障がいのある方をどのように指導して良いかわからない、担当していただく業務がないといった不安もあると思いますが、支援機関の協力を得ることできっと不安も解消されるはずです。



社員の皆様

鳥取ビルクリーナー株式会社

～業務のやり方が変わっても、戸惑いなく就業が継続した事例～



- 所在地：鳥取市本町
- 事業内容：建築物清掃管理業、電気・空調設備管理業
- 従業員：140人
- うち障がい者数：身体2人（清掃業務）、知的2人（清掃業務）

〈事業所概要〉

弊社は、床面清掃、ワックス仕上げ等の清掃業務、衛生管理、設備管理等建築物の総合管理業務を実施しています。お客様に快適で笑顔に満ちた職場環境をお届けできるように真心を込めて業務に取り組んでいます。

ちょっとした配慮やサポートで、働きやすい職場づくり目指しています。

障がい者雇用の経緯

鳥取県立中央病院で障がいのある方3名に働いていただいています。平成27年4月から他の会社様から病院の業務を受け継ぎましたが、当社と一緒に頑張ってもらえる方は引き続き弊社で働いていただくことになりました。

担当する業務は、以前担当していた業務、担当の場所も基本的に同じにし、円滑に仕事をしていただけるようにしています。何かあればいつでも相談してもらおうようにしています。



働きやすくなった職場

業務内容

主な業務内容は、以下のとおりです。

- ・病院のゴミの分別
- ・トイレの清掃
- ・湯沸かし室の清掃
- ・玄関・ロビー等の机、椅子の清掃



ゴミの分別作業

勤務時間は、担当毎に異なりますが、概ね8時から12時までの4時間勤務です。



トイレ清掃

ポイント1

ジョブコーチの手厚い支援

平成27年4月に鳥取県立中央病院の業務を受け継いだ際、清掃道具の変更に戸惑う様子が見られました。このためジョブコーチの方に支援していただくと思いました。

清掃業務には、女性用トイレの清掃もあったので、女性のジョブコーチの方にも来て頂きました。



ジョブコーチ支援で仕事も丁寧

ジョブコーチの方と一緒に業務の手順書を作成し、ご本人の作業カードに貼り付け、確認しながら業務を行えるようになりました。

10月から約1年間で、3名のジョブコーチの方にお世話になり、今でも月1回程度様子を見に来てくださっています。

ジョブコーチから一言

本人は、病院での清掃業務の勤務実績が8年ありましたが、新しい会社での仕事のやり方、清掃道具の違いに大変戸惑っていたように思います。

仕事が正確にできるように、会社に業務のチェックシートを作成していただき、作業後、本人と一緒に確認するようにしました。

また、支援するジョブコーチ3名がそれぞれ異なった助言をしないよう、ジョブコーチ間で仕事の手順書、指示書を入念に確認して情報共有を行いました。

支援後は、仕事にも慣れて丁寧な仕事をされるようになりました。会社の方も定期的に業務の確認や声かけなど配慮をせっせと行っているようです。

人事担当者から一言



渡辺総務課長



土肥担当係長

従業員の方には日々一生懸命働いていただいています。

会社の方針としては、特に健常者と障がいのある方の区別をすることなく、その業務を行うことができる方であれば採用してきました。ちょっとした配慮やサポートをすることで十分に能力を発揮していただけます。

経験を積んでいる方には長く勤めていただきたい。障がいのある方にとっても、会社にとってもお互いメリットがあります。

これからも従業員にとって働きやすい環境を目指していきます。

日本郵便株式会社 米子郵便局

～障がい者雇用専門の部署が事業所内で注目される存在となっている事例～



- 所在地：米子市弥生町
- 事業内容：郵便・物流・金融
- 従業員：538人
- うち障がい者数：身体3人（事務業務2人、配達業務1人）、知的9人（清掃業務）

〈事業所概要〉

米子郵便局は、1872年（明治5年）に米子郵便取扱所として開局しました。現局舎は、1997年（平成9年）に移転・新築されました。配達受持ちエリアである米子市、西伯郡、日野郡及び島根県隠岐郡を中心に、全社員が一丸となって、より良いサービスの提供に取り組んでまいります。

チャレンジドの自立と成長を目指します！

障がい者雇用の経緯

日本郵便株式会社では、障がい者雇用の促進等に関する法律の規定に基づき障がい者雇用を推進しています。

一層の推進を図るため、知的障がいのある方（チャレンジド）を清掃業務に従事する期間雇用社員として雇用しています。

当局は、平成23年4月1日に「チャレンジド室」を設立し、現在シニアコーチ1名、コーチ2名及びチャレンジド9名の体制となっています。



清掃業務の様子

業務内容

トイレ、廊下、階段、ポスト及びドア等の清掃業務及び定期的な郵便局周辺の雑草除去作業を行っています。清掃時間は学校形式を導入し、概ね1時間の作業後に5分間～10分間の休憩時間を設け、肉体的及び精神的に負担のかからないように配慮しています。

勤務時間は、9時～15時45分（休憩45分含む）の6時間勤務です。



担務表を掲示



掃除後の片づけ

ポイント①

作業手順の定着は業務の「見える化」で

新規の採用者が配属されたときや作業方法が変更となる場合は、チャレンジドが理解しやすいよう「**図解入り作業手順書**」を活用し、ミーティング等で納得ができるまで丁寧に説明しています。

また、清掃道具や担務表等は、番号やカラーで表示して、業務の「見える化」を図って合理的な配慮に努めています。

作業手順が定着しない方には、コーチが同行し指導を行います。それでも定着しない方には、個別に話し合い、①書いて覚える。②単語帳を活用する。③清掃箇所が描かれたイラストをペンでなぞる、など最適な定着方法を一緒に考えるようにしています。



カラー表示された清掃道具

ポイント②

仕事は楽しく、感謝の気持ちを大切に

「チャレンジド室」の室内では、仕事楽しくなるよう、各々が成長できるよう様々な工夫をしています。

- ・新年毎に各自が年間目標を設定・掲示
- ・サンキューメッセージの掲示

「感謝」の気持ちを大切に。同僚や仲間から支援を受けたときにメッセージカードを記入。終礼時に本人が読み上げ仲間を称賛しています。

- ・1分間スピーチ

日直当番が終礼時に実施。スピーチに対して仲間同士でコメントをするようにしたところ、意思表示が苦手な方も自分の意見をハッキリ述べるができるようになるなど各々の成長につながりました。



サンキューメッセージ



局内の月間MVP表彰

チャレンジド室シニアコーチからの一言

日々明るく風通しの良い職場環境にしていくために、コーチ同士が連携し、チャレンジドの長所を伸ばすことができるよう個別対話等のコミュニケーションの充実を図っています。時には他の部署の方も含めて焼肉大会やボーリング大会も開催しています。

また、障がい者職場定着推進センター「あしすと」と連携強化を図り、チャレンジドの現状での問題点等を一緒に考えていただき、解決に向け取り組んでいます。

様々な支援を行い、チャレンジドの全員が自立ができることを目指して、これからも一緒に仕事に取り組んでいきたいです。



チャレンジド室コーチの皆様

大同端子製造株式会社

～障がい者の能力が十分に発揮され、貴重な戦力となった事例～



- 所在地：鳥取市南栄町
- 事業内容：電気機械器具製造業
- 従業員：58人
- うち障がい者数：知的1人（計量・梱包業務、絶縁挿入業務）

〈事業所概要〉

弊社は、多様化した設備、機器に合った圧着端子・圧着スリーブ等の製品を「電気をつなぐ・エネルギーをつなぐ・信頼をつなぐ」ものと位置付け、厳しい品質管理とコストダウン、さらには納期短縮等の徹底した管理体制の下で供給し続けています。

限りない技術開発の様々なニーズにお応えできる体制を目指しています。

想像以上の能力に驚いています。仕事は一番早いです。

障がい者雇用の経緯

養護学校から職場実習のお願いをされたことがきっかけです。どのように接してよいか、どの程度の業務が可能なのか不安がありました。しかし、事前に学校から個性や配慮の仕方な色々と情報をいただいたことや、3ヶ月のジョブコーチのサポートにより、スムーズに業務を行うことができるようになりました。

初めはスピードを求めすぎないように気をつけてもらっていましたが、徐々に能力の高さを発揮して、今では様々な業務が迅速にできるようになりました。

業務内容

主な業務内容は、計量・梱包、絶縁挿入業務です。計量・梱包業務では、同数の製品を計量し、梱包しています。絶縁挿入業務では、機械を用いて圧着端子を製造しています。

勤務時間は、午前8時15分～午後5時までのフルタイム勤務です。

遅刻・欠勤もほとんどなく、一生懸命働いています。



絶縁挿入作業



正確に業務を遂行

ポイント①

業務に集中し、効率的にできるよう工夫

計量・梱包業務では、計量器で計量された個数と梱包した個数（基準数値）が一致したことがわかるよう、計量メーターの横に基準数値を示す目印を作成し、ミスが出ないように工夫をしています。

また、コミュニケーションでは、物事を書いて伝えるときには、大きな字、ひらがなで、簡潔に記載するよう心がけています。

職場内の雰囲気も良く、社員同士仲の良い職場です。



基準数値を示す目印

ポイント②

会社全体で仕事の成果を評価

非常に能力が高く、仕事も速い彼を誰も特別扱いしていません。いつも笑顔で社内の雰囲気を和ませてくれ、そして仕事の時は真剣です。今では安心して仕事を任せられます。

彼の仕事の速さは、会社で一番と言っても過言ではありません。

これまで継続して働いてくれてるのは、障がいがあるからと特別扱いすることなく、一人の会社全体が仲間として認めているからだと思います。



社内ボーリング大会

人事担当者から一言



若川取締役製造部長

会社に入ってもらうまでは、どのように接してよいか、なにが得意で、なにが不得意なのかなど様々な不安がありました。事前に学校から情報は十分いただいていましたが、思い返せば少し構えていたところはあると思います。しかし、想像を超える能力に驚かされました。「障がい者」という固定概念で業務レベルを甘く見ていたと思います。

誰でも最初は不安があるかとは思いますが、まずは受け入れてみてください。きっと自身の固定概念であったと思われるはずで、これからも社員一丸となって仕事に取り組んでいきます。

有限会社ドアーズ

～得意、不得意をうまく組み合わせ個性を活かした事例～



- 所在地：倉吉市関金町
- 事業内容：製造業
- 従業員：39人
- うち障がい者数：知的11人（製造・梱包業務）、精神2人（製造・梱包業務）

〈事業所概要〉

弊社は、ペットフードの一貫生産を行っています。県産の牛や豚、副資材等の仕入から製造、パッケージングを行っています。商品は、ホームセンターやコンビニへ販売しています。

地域や企業で活躍できる障がい者、高齢者、ひとり親家族の保護者、介護失業者らのための働く場所をつくっていくことを理念に業務に取り組んでいます。

障がい者雇用で「ひと」の無限の可能性を開きます。

障がい者雇用の経緯

平成25年4月に、障がい者や就職に困難を抱える方々が活躍できる場所が必要と考え、事業を開始しました。

採用する上でまず考えるのが、「この人ができることは何だろう。」ということです。そこから各々の事情を聞きながら業務の担当を決めています。各々が得意とする仕事を割り当てることで仕事の効率もアップさせています。

業務内容

当社では、ペットフードの生産から販売まで一貫生産を行っています。

資材の仕入れ、下処理業務、加工作業、乾燥処理、袋詰め作業、箱詰め作業等の作業工程を担当してもらっています。

従業員はそれぞれの個性を活かし、補い合い、協力し合っています。協力し合う気持ちにより絆が生まれていることは非常に嬉しく思います。



製造作業場



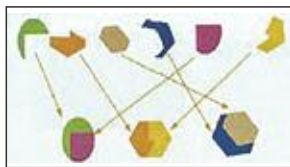
ペアで加工作業

ポイント①

それぞれの個性の組み合わせで成果を創出

従業員の習熟度を高めるために、作業を細分化し、各々の得意、不得意を考慮して、仕事を割り当てています。不得意な作業については、うまく組み合わせで補い合えるようにしています。例えば、力はあるが細かい作業は苦手な人と手先は器用であるが重い物を持たない人を2人1組にして業務を行うことで、一般の労働者と変わらない成果を出すことができます。

障がい者の個性を把握することで、本人にとっても働きやすい業務となり、フルタイムで勤務をされている方もいらっしゃいます。



得意、不得意の組み合わせイメージ図

ポイント②

チームワークで助け合い認め合い

入社当初は「がんばらない」ことからスタートします。最初は1時間でも、1週間に一度でもよいので、気持ちを楽にして仕事を始めてもらっています。

働いていただくうちに、障がい者の性格や個性がわかってきます。そこで、正確さや集中力を見るために配置換えを行い、得意分野も把握します。また、業務を補い合えるよう、午前は製造、午後は袋詰めといった交代作業も行います。

当社の従業員の出勤は自由です。他の従業員がサポートする、補い合う、認め合っているからこそできることであり、チームワークが十分にできている職場です。



商品の袋詰作業

代表取締役社長から一言

地域や企業で活躍できる障がいのある方々に対して、十分な活躍の場所が少ないと思っています。

「これは出来ない」と誰かが制限することが障がいとなり、「これもできる」と誰かが工夫することで障がいではなくなります。障がいは持って生まれるものではなく、誰かに認識されることで生まれます。社会的な障がい、それこそが「障がい」であると思います。

これからもドアーズは、新たな「未来」に挑戦し、「ひと」の無限の可能性を開き続けます。



柴田代表取締役社長

株式会社鳥取大丸

～障がい者が自ら進んでステップアップしている事例～



- 所在地：鳥取市今町
- 事業内容：百貨店
- 従業員：450人（取引先社員300人含む）
- うち障がい者数：身体4人（経理、事務業務）、精神2人（販売）

〈事業所概要〉

弊社は、昭和12年の創業以来、地域と共に成長してまいりました。常にお客様の視点に立った店づくりを進めており、質にこだわった価値のある商品を幅広く提案しています。おもてなしの心を基本として、これからも「お客様のご満足」を追求していきます。

誰でも安心して働くことができる職場づくりを目指しています！

障がい者雇用の経緯

日本では障がいのある方が25人に1人という社会背景がある中、会社でも障がい者雇用に取り組んで行くのは当たり前ではないかという思いから障がいのある方の雇用を推進してまいりました。

初めは、障がいの個性を十分理解しないまま指導してしまったり、個性に合った業務配置ができていなかったり、これまで様々な失敗もありました。

そのような経験があったからこそ、現在では6名の方に安心して働いていただいております。

業務内容

主な業務内容は、経理、電話交換、駐車場管理、企画事務、販売及び販売サポート業務をしていただいております。

企画事務の方を販売サポート業務へ異動していただいたり、販売サポート業務から販売業務へ就いていただいたり、徐々にステップアップしています。



商品売り場



事務所内

ポイント①

相談体制の充実で高いモチベーション

入社直後に面談を実施します。これまで転職を繰り返している方が多いため、まず解雇に対する不安を取り除くことを意識しています。

入社後も半年に一度、面談を実施して、悩みがないか確認することで、安心して働いていただいております。また、困ったことがあれば、担当者に自由に相談できる体制をとっています。

最近の面談では、販売サポート業務を担当している方から「2～3年以内には売り場（販売業務）に行きたい。」との熱い希望もあり、「焦らずに一步一步、歩いて行こう。」とアドバイスしましたが、高いモチベーションには大変嬉しく、頼もしく思います。

ポイント②

職場実習で周囲のフォロー体制構築

採用時に、できること、できないことをしっかりと聞取った上で、業務を担当していただいております。できない業務があることで評価を下げたり、本人の自信をなくしてはいけません。できる業務は、健常者と変わらず、指導して叱るときには叱るようにしています。

採用当初、人と接することが苦手であった方が、今では売り場にヘルプで出てもらうほどに成長しました。苦手であった業務も少しずつ無理のない範囲でしていただくことによって、日々成長していただいております。

入社当初から、できないことや苦手なことを無理にしないでいただいてもうまいかと思っております。

人事担当者から一言



塚田取締役業務管理部長

どのようなお客様でも差別することなく、皆様に満足いただけるよう接客させていただくことは当然のことです。当社の障がい者雇用に対する理解もそこから来ているのではないかと思います。従業員間のチームワークも良く、誰でも安心して働ける職場環境が自然とできています。

誰でも安心して働ける職場環境の中で、障がいのある方が徐々にステップアップしていただければと思います。精神障がいのある方も、精神障がいの不安がなくなることを目指しております。

これからも積極的に障がい者雇用について推進してまいりたいと思います。

日ノ丸産業株式会社（鳥取・いなば 有隣荘）

～職場実習を通して、業務適正を判断している事例～



- 所在地：鳥取市国安
- 事業内容：飲食業
- 従業員：224人
- うち障がい者数：身体3人（支店業務）、知的1人（清掃及び厨房業務）

〈事業所概要〉

創業以来60有余年の歴史を積み重ねてまいりました。弊社の観光事業として展開しております「有隣荘」は、鳥取市の名誉市民である米原章三翁が晩年に愛した憩いの場所です。皆様方により一層愛される日ノ丸産業となるべく、頑張っております。

今では安心して任せられるまで成長しました。大切な人財です。

障がい者雇用の経緯

平成24年に特別支援学校で実施している職場実習の受け入れを行いました。春と秋の2回、職場実習を行い、徐々に慣れていただき、平成25年4月に正式採用とさせていただきました。

障がいのある方を雇用する上では、まず職場実習を通して、障がいのある方、ご家族、会社それぞれが納得し、安心して働いていただけるように心がけています。



任された庭園清掃

業務内容

主な業務は、草取りや落ち葉をブローア－を用いて回収する庭園清掃、厨房の食器洗い、片づけ等です。その他、有隣荘の室内清掃、配膳の補助等も行います。

勤務形態は、週休2日のシフト制です。これまで無遅刻無欠勤で働いています。



庭園の草抜き



庭園でブローア－回収

ポイント①

職場実習を活用し、本人と会社とのマッチング

どのような障がいのある方が来られて、どのように接してよいのか分からないまま採用してミスマッチが生じたら、障がい者本人にとっても会社にとっても、お互いにメリットがありません。

このため、採用に当たっては、職場実習から徐々に慣れていただくことからスタートしました。職場実習を通じて、障がいの特性やその方自身の人となりが見えてきます。

できる業務とできない業務を判断しながら、徐々に庭園の清掃から厨房の食器洗いなど業務を増やし、他の従業員の業務も手伝っていただいています。彼を含めて従業員一人ひとりが欠かせない存在となっています。

ポイント②

丁寧な性格を活かし、能力を発揮

特別支援学校の清掃の時間では、常に丁寧に清掃することを心がけていたそうです。初めのうちは、指導担当者が業務の確認とアドバイスを行っていましたが、しかし、大変丁寧に仕事をしていただけなので、今では本人に仕事を任せています。

職場実習の時の丁寧な仕事ぶりが当社の業務内容に適していると判断できたことが今につながっていると思います。

庭園の四季の変化を楽しみながら、自分の仕事に誇りを持ってもらっています。



丁寧に清掃された庭園

人事担当者から一言

障がいのある方の雇用だけでなく、どんな人材でも採用すれば、それぞれに個性があり、長所や短所、それに応じた困難もあると思います。まずは仲間として迎え入れ、そこから一つひとつを確認して、時には意見を出し合いながらやっていけば、障がい者雇用は進んでいくと思います。必要な部分は配慮しながら、長い目で見ること、やがて熟練し、欠かせない戦力となってくれます。

障がいのある方への間違った先入観や足手まといと思っている限り雇用は進みません。不安な部分はあるかとは思いますが、障がいを理解することから始めてみてはいかがでしょうか。



白根総務兼観光事業部長

社会福祉法人こうほうえん

～職員や利用者との協力により、業務が上達していった事例～



- 所在地：米子市両三柳
- 事業内容：社会福祉事業
- 従業員：1,676人（鳥取県内）
- うち障がい者数：身体13人（マッサージ師、生活援助員）、知的10人（生活援助員）、精神3人（生活援助員）

〈事業所概要〉

昭和62年から高齢者福祉、平成14年から保育サービス、平成15年から障がい福祉サービスを提供し続けてきました。境港市、米子市、鳥取市に約100の事業所（介護、保育、リハビリテーション病院など）で複合的な運営を展開しています。

皆さんと『互恵互助』の関係を築くこと、それが目指す姿です。

障がい者雇用の経緯

私たち「こうほうえん」は多くの皆様のご支援をいただき、設立から間もなく30年を迎えます。地域に根付いたサービスを提供したいという思いから、『地域に開かれた、地域に愛される、地域に信頼される「こうほうえん」を目指します』という理念のもと、地域とともにお互いが助け合い、お互いが幸せを分かち合う『互恵互助』の精神を法人の価値として育んできました。

特別支援学校、障害者就業・生活支援センター、障害者就労支援事業所など多くの皆様と連携しつつ障がいのある方の雇用を進めてきております。

業務内容

利用者の皆様に快適な環境で生活を送っていただけるよう、主に環境整備の業務から入っていただいております。住宅や施設の風呂や廊下の清掃、シーツ交換、ごみ収集、食事やレクリエーションの補助、畑作り（耕す、草取り、水やり等）や草取りの環境整備もお願いしています。時には、近くの事業所に出向いての仕事もいただいております。



慣れた手つきでシーツ交換



草抜き作業

ポイント①

アドバイスや経験を現場で活かす

多くの支援機関からのアドバイスにより、次のことを職場で活かしています。

- ・「できること」「苦手なこと」「困難なこと」を見極めるため、少しずつ仕事を始めてもらいます。
- ・急がず、できることから進めていくよう心がけます。
- ・読みやすく、わかりやすい表現で、目に見える形にします。
- ・一連の業務を細分化し、できる業務を確認していきます。
- ・できる業務は、タイムスケジュールにまとめて明示するようにします。

職場では、事前に障がいへの理解を求め、お互いに声のかけやすい雰囲気づくりとともに、利用者に対する笑顔、挨拶などの接遇に努めています。

ポイント②

職員の指導で業務が上達

本人と交換ノートを作って、仕事の感想や困ったこと良かったこと等、ご家族にも記入していただき情報の共有を図っています。初めての業務では、独り立ちできるまで職員が指導します。

指導をしていく中で、どこまで出来るか業務を検討し、仕事を増やしていきます。接遇など利用者との関わりがうまくいけば、レクリエーションや話し相手もしていただきます。

本人の得意なことは大いに認めることが、熟練への道だと考えています。



仕事の上達し独り立ち

先輩職員から一言



デイハウスわたり 安達管理者



グループホームかみごとう 有澤管理者

仕事の楽しさややりがいを感じている様子が伺えます。高齢の利用者から孫のように思われ、職員は大切な仲間であると思っています。今ではいなくてはならない存在です。

初めの頃は、働く環境に慣れることができるのか、他の職員の態度で傷ついたり、お互いが気を遣いすぎて仕事に支障ができるのではないかと心配でした。色々心配してみました。が、「まずはやってみる」ことだと思います。長く就労できるよう一緒に頑張りましょう。

株式会社寺方工作所

～障がい者に配慮することが職場に定着している事例～



- 所在地：東伯郡北栄町
- 事業内容：電気機械器具製造業
- 従業員：133人
- うち障がい者数：身体2人（検査業務）

〈事業所概要〉

弊社は、金型を製作して、プレス加工で、自動車のエンジン、変速機、制御、シートベルト、カーエアコン、プロジェクターの部品等を作っています。

高難度のクリアと高精度を追求し、豊富に蓄積されたノウハウの全てを、製品に活かし、高水準のプレス部品の工法開発に全力を注いでおります。

障がい者への具体的な配慮が職場定着のポイントです。

障がい者雇用の経緯

障がいのある方は20年以上前から雇用しています。重度の知的障がいの方をはじめ、精神障がい、身体障がいのある方を雇用してきました。雇用、職場実習の受け入れ等をおし、社内で障がいのある方に対する理解、環境、支援体制が少しずつ整っていきました。

現在は、身体障がいの方1名と心臓疾患の方1名の雇用に至っています。



検品作業

業務内容

精密金型を使用し、プレス加工された部品の外観検査を中心に作業を行っていただいています。

細かな部品、種類が多く、時には顕微鏡を使用するなど集中力が求められる工程もあります。

勤務時間は、8時又は9時～17時までです。リハビリのため通院が必要な方には、週2回程度、早退を認めています。



商品写真

ポイント①

支援機関との密接な連携

日常的に「障害者職業・生活支援センターくらよし」と連携をとり、就労面、生活面の指導、助言をいただいています。

会社に言えないこともセンターの支援員の方には言えることもあり、本人、会社、支援機関が協力することで、本人にとって最善の配慮を行うよう心がけています。

センターの支援員の方には、1ヶ月に1回程度訪問していただき、本人の様子だけでなく、当社の課題の相談にも乗っていただきました。



障害者職業・生活支援センターくらよし

ポイント②

障がい者のための労働環境の整備

障がいのある方が働くための職場づくりについて、常日頃から配慮を心がけてきました。例えば、職場チームメイトの理解、和式トイレから洋式トイレへの改修、労働時間や通院の配慮等です。

これまで様々な配慮をしてきましたが、全ての配慮が本人にとって良かったのかどうかはわかりません。しかしこれまでの経験や苦労があるからこそ、今では当たり前のように配慮ができていく部分は多いと思います。



身体障がいのある方が利用しやすくなった洋式トイレ

人事担当者から一言

これまで数名の障がいのある方を雇用してきましたが、支援機関との連携は非常に重要です。

初めて雇用される企業の方々は、「どう接してよいのか分からない」「どのような配慮をすればよいのか分からない」等不安は大きいと思います。まずは支援機関との連携をとることで不安は軽減されると思います。会社だけでなく、支援機関と連携してサポートすることで障がいのある方も安心して働くことができるのではないのでしょうか。

また、障がいのある方を雇用してから見えてくる必要な配慮点も多くあるかと思っています。その時は、会社全体で理解をすることで自然と働きやすい職場になるのではないのでしょうか。



石見セクションチーフ

愛ファクトリー株式会社

～個人の特性を活かしながら職場定着を実現した事例～



- 所在地：鳥取市青谷町
- 事業内容：農産物の生産、販売等
- 従業員：21人
- うち障がい者数：知的12人・精神3人（主に栽培、収穫業務）

〈事業所概要〉

平成26年に親会社である株式会社インフォメーション・ディベロプメントのグループ内特例子会社（2016/5/1 認定）として、鳥取市青谷町の旧・日置谷小学校に設立されました。葉物野菜を主にLED光源で無農薬で栽培しています。今後も地域の皆さまとともに「わくわくする未来創り」に貢献できるよう努力してまいります。

社会人として自立してもらいたい！その一心です。

障がい者雇用の経緯

平成26年の設立に当たり、障がいのある方を5名雇用しました。事業を軌道に乗せるまで、販路開拓など様々な苦労がありました。障がい者雇用の勉強はしていましたが、最初のうちは、障がいのある方に対して十分な配慮ができていなかったと思います。

現在では、これまでの経験を活かし、また、障害者就業・生活支援センター等の支援をいただくことにより15名の障がいのある方の雇用を実現しております。



工場内の無農薬栽培

業務内容

主な業務内容は、工場内では、ルッコラを主としたハーブ系葉物をLED光源で無農薬で栽培しています。他にもケール・からし菜・レタス・アイスプラントなど10種類以上の野菜を栽培しています。収穫した野菜は混合してミックスリーフとして販売しています。

勤務形態は、10時～17時までの勤務です。従業員の個性に応じた作業配置に努力をしています。



商品のパック詰め

ポイント①

綿密な情報共有

障がいのある方に安心して安定した就労をしていただくために、本人、ご家族、障害者就業・生活支援センターとの綿密な情報共有を重視しています。

- 採用までの流れとしては、
- ①本人とご家族と一緒に見学に来ていただく。
 - ②本人、ご家族、障害者就業生活支援センターのご了承の上、短期の職場実習をしていただく。
 - ③継続可能であれば、長期の職場実習を経て、採用というステップを踏んでおります。小まめに連絡を取ることで、課題を共有することができ、早期の問題解決につながっています。



一つひとつ丁寧に収穫

ポイント②

個性を踏まえた業務配置

作業は、個人の特徴や個性を踏まえた配置ができるよう努力しています。例えば、コミュニケーションが苦手な社員は、比較的ひとりで集中した作業ができる「シール貼り」等の受託作業をお願いしています。

ひとつの仕事をパターン化して行う事が得意な方、また、集中力が切れやすい方は栽培作業との混合作業にするよう工夫をしています。

創業3年目に入り、現在の定着率を今後も保って行く努力をしてまいります。



商品の仕分け

代表取締役社長から一言



木村代表取締役社長

従業員の皆様には、業務だけでなく社会人としての挨拶、マナー、ルール、能力等も指導しており、日々成長していただいています。

特例子会社ではありますが、いずれはみんなを自立させたいという気持ちで日々取り組んでいます。個性に応じた配置をすることによって、ご本人が楽しく能力をアップしていけることが理想です。

また、ご家族や支援機関との連携を大切にし、ご家族にも安心していただける、そんな会社を目指していきたいと思っております。

障がいのある方の雇用をお考えの事業所の皆さんをサポートします！

障害者就業・生活支援センター



障害者就業・生活支援センターとは

障がいのある方に対し、就業面と生活面の一体的な相談・支援を行います。

また、事業所の方に対しては、雇用に向けた相談、及び採用された方の障がい特性を踏まえた職場定着のための支援などを行います。

障がいのある方への支援

●就業相談

仕事や、仕事をしていくうえで困っていることなどの相談に応じ、必要なお手伝いをします。

●職場開拓

ハローワークと協力してあなたにあった仕事を探します。

●職場実習

意欲的に仕事をするために、地域の事業所で実際に働く体験を通して、働くことへの不安を取り除けるようお手伝いをします。

●職場準備訓練のあっせん

障害者職業センターと連携して行います。

●定着支援

就職後もずっと働くことができるようお手伝いをします。

事業主の方への支援

●雇用に向けた相談

障がいのある方の雇用に関するお手伝いをします。

●情報提供

制度の活用や支援方法など、必要な情報を提供します。

●定着支援

障がいのある方が就労した後も定期的に職場を訪問させていただき、障がいのある方と事業所からの相談に応じます。トラブルにも対応いたします。



利用料無料

障がいのある方を雇っている事業所の皆さんをサポートします！

ジョブコーチ支援



ジョブコーチ支援とは

障がい者の方、事業主の方、そして障がい者のご家族に対して、障がい者の方が職場に適応できるようきめ細かな支援をするサポート制度です。

ジョブコーチとは、1年以上の就労支援経験があり、厚生労働大臣が定める研修を修了した支援者です。

ご支援の内容

障がいのある方へのご支援

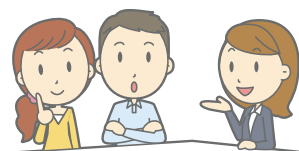
- 人間関係や職場でのコミュニケーションの取り方
- 会社のルールやマナーなど働くうえでの基本的なこと
- 作業方法や仕事の進め方
- 健康管理、生活リズムの維持
- 不安や悩みの聞きとり、助言 等

事業主の方へのご支援

- 障がいの理解・障がいに配慮した対応方法について
- 作業内容、作業工程、作業補助具などの設定について
- 指示・注意の仕方など効果的な指導方法
- 障がい者との関わり方に関すること
- 家族との連絡、連携体制の確立に関すること 等

ご家族の方へのご支援

- 家庭内でどのように支援すればよいか
- 事業主との連絡、支援機関との連携に関すること 等



利用料無料

精神障がい者雇用マンガリーフレット 「精神障がいを知り

障がい者雇用をどのように進めていけば良いのか、一連の

【ちょっとした配慮でより職場の戦力に！】

■精神障がいには、うつ病や不安障がい、統合失調症、てんかんなどがあります。通院や服薬により症状が安定し、障がいを企業に伝え、適切な配慮のもとで働く方が増えています。

■人によって、緊張しやすいさや疲れやすさなどから新しい環境に慣れるまで少し時間がかかる場合もありますが、指導担当者を決める、担当範囲を絞り込みシンプルな作業から担当してもらうなどの配慮があれば、徐々に仕事や職場環境に慣れ、力を発揮できます。

■気軽に相談できる体制作りや体調の見守りなどがあると、安心して働くことができ、定着につながります。

【雇用に取り組んだ企業の声】

最初はうまくいくか不安がありました。今はすっかり戦力です。上司とも気軽に相談できているのが良いようです。(医療・福祉業)



受入れに際し、作業工程や分担を見直し、マニュアルを作成したら、職場全体の効率性やモチベーションも上がりました。(製造業)



障がい者雇用の本気で取り組んだことで、障がい者だけでなく、女性や高齢者等様々な経験・知識を持った人の活用を考えるようになりました。(建設業)



心強い味方です ～採用から職場定着～



【ジョブコーチ支援】

ジョブコーチが企業を訪問し、事業主の皆さまに障がい特性を踏まえた接し方や作業設定について助言します。また、障がい者の不安や悩みを確認し、職場に合った対応策と一緒に考えます。

(窓口：鳥取障害者職業センター他)

お互いに知り合えば ～採用のステップ～



【職場実習】

企業で実際に働く体験を通じて、仕事の適性や対応力を確認し、仕事のマッチングや不安の軽減を目指します。また、職場実習中にジョブコーチが訪問するなど、チームで支援することもできます。

(窓口：障害者就業・生活支援センター他)

ともに働く職場づくり

流れをマンガ形式でわかりやすく掲載しています。

こちらからお読みください

案ずるより産むが易し ～会社全体で取り組む～

百聞は一見にしかず ～相談・情報収集～

最初は誰でも不安… ～障がい者雇用の検討～



【トライアル雇用】

障がい者の適性や可能性を3か月の雇用で見極め、事業所及び本人の相互理解を促進する制度です。週所定労働時間が10時間以上20時間未満の場合は最大12か月の短時間トライアルも利用できます。

(窓口：ハローワーク他)

【まずは見学や体感を】

障がい者を理解し他企業の事例や助成金制度等をご案内するセミナー、企業で働く障がい者、企業の取組み等を体感する企業見学会、障がい者と語り合う面接会などを毎年実施しています。

(窓口：ハローワーク他)

【これからの日本は】

労働力人口が大きく減少します。一方、求職・就職した精神障がい者数は最多となっています。障がい者の就労支援対策が充実してきている今、精神障がい者雇用に対する早期の検討・取組が大切です。

(窓口：ハローワーク他)

障がい者雇用に関する問い合わせ先

障がい者の就業について相談する場合

県東部在住の方	障害者就業・生活支援センターしらほま	〒689-0201 鳥取市伏野2259-17	TEL 0857-59-6060 FAX 0857-59-2022
県中部在住の方	障害者就業・生活支援センターくらのよし	〒682-0806 倉吉市昭和町1-156	TEL 0858-23-8448 FAX 0858-23-8456
県西部在住の方	障害者就業・生活支援センターしゅーと	〒683-0064 米子市道笑町2-126-4 稲田地所第5ビル1F	TEL 0859-37-2140 FAX 0859-37-2140

障がい者の定着支援及びジョブコーチについて相談する場合

鳥取障害者職業センター	〒680-0842	鳥取市吉方189	TEL 0857-22-0260 FAX 0857-26-1987
障がい者職場定着推進センターくらのよし	〒682-0806	倉吉市昭和町1-156	TEL 0858-23-8448 FAX 0858-23-8456
障がい者職場定着推進センターあしすと	〒683-0064	米子市道笑町2-126 桑本ビル1F	TEL 0859-34-6568 FAX 0859-34-6568

求人等に関する問い合わせをする場合

ハローワーク鳥取	〒680-0845	鳥取市富安 2-89	TEL 0857-23-2021 FAX 0857-22-6906
ハローワーク倉吉	〒682-0816	倉吉市駄経寺町 2-15 倉吉地方合同庁舎	TEL 0858-23-8609 FAX 0858-22-6494
ハローワーク米子	〒683-0043	米子市末広町 311 イオン米子駅前店 4F	TEL 0859-33-3911 FAX 0859-33-3959
ハローワーク米子根雨出張所	〒689-4503	日野郡日野町根雨 349-1	TEL 0859-72-0065 FAX 0859-72-1371
鳥取労働局職業安定部職業対策課	〒680-8522	鳥取市富安 2丁目 89-9	TEL 0857-29-1708 FAX 0857-22-7717
鳥取県商工労働部雇用人材局 就業支援課 (障がい者雇用アドバイザー)	〒680-8570	鳥取市東町一丁目 220	TEL 0857-26-7692 FAX 0857-26-8169

—— 本書に関するご意見等がございましたら、次にご連絡ください。 ——

鳥取県 商工労働部 雇用人材局 就業支援課

TEL(0857)26-7693 FAX(0857)26-8169



みんなが安心してともに働くことができる職場にしていこう！

平成28年12月発行

※本書は、平成28年10月に当県が行った取材を元に企画・編集したものです。